

子どもの作業療法

小児科に相談に来たら
「作業療法で評価」と
言われたけど…
何をやるんだろう？



聞いたことはあるけど
大人に対するリハビリ
じゃなかったっけ…？

作業療法とは？

『作業』とは

着替えたり

ご飯を食べたり

遊んだり

勉強したり

など



日常生活での全ての活動のことです。

そういった『作業』を上手く遂行するための支援を行います。

当院での流れ

主治医の診察
(作業療法の指示)

作業療法
評価

主治医の診察
(作業療法の方針決定)

- 定期的な訓練 (月1~2回を半年間)
- 経過観察 (数か月後)
- 終了

評価は主治医の指示のもと行われます。1回1時間で2回来院していただきます。
評価後は主治医の指示により方針を決定します。

『評価』って何をするの？



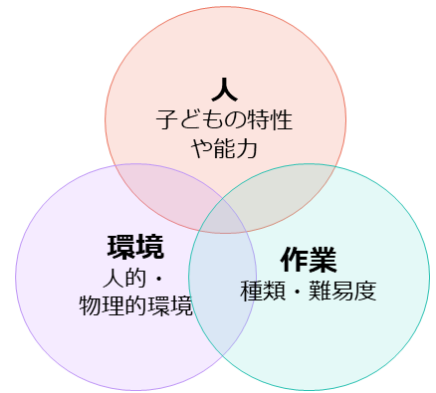
まずは問診から行い、どんな場面でどんなことに困っているのかを確認します。

困りの原因を整理するために、行動観察や各種検査などを行います。



評価の視点

人が『作業』を上手に行うためには、**環境、作業の種類・難易度が整う**必要があります。
どの部分に対するサポートが有効かを分析し、支援に繋げていきます。



評価の例



5歳の男の子。
食事中に離席があり、
食べこぼしが多い。



最後まで座って食べられる
ようになってほしい。

評価結果

【人】

- ・手先が不器用
- ・姿勢が崩れやすい
- ・食事への意欲が乏しい

【環境】

- ・テレビに気が散る
- ・椅子が高く、足が床についていない

【作業（食事）】

- ・一定時間座り続けられない
- ・ご飯への注目が続かない
- ・箸が上手に使えない

【人に対するサポート】

- ・箸の練習方法を指導
- ・体幹筋を使う遊びを提案
- ・できたことをしっかり褒めて、やる気に繋げる

【環境に対するサポート】

- ・食事中はテレビを消す
- ・気になるものが見えないような席の配置にする
- ・足を置ける台を置く

【作業に対するサポート】

- ・ご飯の量を少なくする（食事の時間を短くする）
- ・ワンプレートに盛り、注目すべき範囲を絞る
- ・スプーンも準備しておく

椅子の上でゴソゴソ動きはあるものの、最後まで座って食べられるようになった！

一人ひとりに合わせた支援を検討します。
希望される方はまず小児科にご相談ください。